研究課題番号	5-1953
研究課題名	甲状腺ホルモン受容体結合化学物質の簡便スクリーニングと新規バイオマーカー探索
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	久保 拓也

1. 委員の指摘及び提言概要

分子形状を用いた分離技術による生理活性の評価は、活性のスクリーニングを効率的に行う有用な手法として活用ができると考えられる。下水処理場での重要な甲状腺ホルモン様物質として TRIAC が検出され、増加したという新たな発見があったことは評価できる。曝露評価の結果も考慮しながら環境検体の包括的な分析手法などの環境政策への反映も期待できる。

TRIAC に関しては、抱合体を含めた挙動の把握や評価が難しいが、その解明を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A